

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	WebデザインⅣ		(NGM22B)
講義名 (コード)	WebデザインⅣ		(NGM22BX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	小笠原 あやの	時間数	30
成績評価教員	小笠原 あやの	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	空気猫デザイン研究所 代表	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	Illustrator、Photoshopを応用し、マーケティングに必要なクリエイティブな表現の幅を広げる。
全体の内容と概要	商品のパッケージやチラシなど、実際に入稿する前提でのデータの作り方を身につける。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	キャラクターの役割やマーケティングについても考えることができる。	身近な商品のオリジナルキャラクターを考えよう① 手書きラフから
2	〃	身近な商品のオリジナルキャラクターを考えよう②
3	〃	身近な商品のオリジナルキャラクターを考えよう③ 発表
4	日本古来の風物詩に触れて、自由な塗り絵を楽しむことができる。	狐のお面に色をつけよう
5	身近にある「フォント」を観察し、変化させることができる。	オリジナルフォントづくり
6	チーム内で意見を出し合いながら協力することができる	《グループワーク》NBL祭のポスター作り①
7	〃	《グループワーク》NBL祭のポスター作り②
8	身近にあるデザインを意識して探すことができる	街に出て写真を撮ろう（看板・ポスターを探そう）
9	〃	街に出て写真を撮ろう 発表
10	素材を楽しく組み合わせ、気持ちを伝えるデザインを考えることができる。	クリスマスカードづくり
11	デザインの役割や意味を理解することができる	《グループワーク》問題解決のための広告作り
12	〃	《グループワーク》問題解決のための広告作り
13	〃	《グループワーク》問題解決のための広告作り、発表
14	テスト	効果的なキャッチコピーを考える
15	フィードバック	フィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Webマーケティング実践ⅣⅡ	(NGM22D)
講義名 (コード)	Webマーケティング実践Ⅱ	(NGM22DX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数 1
授業担当者	横内 和加	時間数 30
成績評価教員	横内 和加	講義期間 秋学期
実務者教員	はい	履修区分 必修
実務者教員特記欄	個人事業 AERU PLUS 代表	授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	Webサイトの構造とユーザー心理を理解し、目的を達成するためのHPおよびLPを構築するスキルを習得する。自身の好きな題材を元にライティングとデザインの両面を考え、成果につなぐWebマーケティングの基礎を体得する。
全体の内容と概要	認知から成約までを繋ぐ「Web上の導線設計」を体系的に学び、ビジネス現場で即戦力となる一気通貫の設計・制作スキルを習得します。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	HPとLPの違いを理解する	HPとLPの違いを理解する。優れたLPのリサーチを行う。
2	【LP】 題材選びと構成案	商品・サービスを選択し、その魅力を書き出し構成を練る。
3	セールスコピーを実装する	ターゲットを想定し、実際に「刺さる言葉」をページに配置していく。
4	ファーストビューをデザインする	最初の1秒で心を掴むビジュアルとキャッチコピーを構築する。
5	LP全体のデザインを組み上げる	構成に基づき、Canva等で1ページのLPを実際に制作する。
6	〃	〃
7	スマホ表示の最適化を行う	実機での見え方を確認し、ボタンの押しやすさや読みやすさを調整する。
8	【HP編】 サイト全体の構造設計	拠点となるHPの役割を考え、複数ページの繋がり（構成）を作る。
9	メインビジュアルを制作する	ブランドの世界観を表現し、信頼感を与えるトップページを構築する。
10	〃	〃
11	各下層ページを実装する	サービス詳細やプロフィールなど、必要な情報をページとして形にする。
12	導線設計とリンクの接続	各ページを繋ぎ、ユーザーを迷わせないサイト全体の流れを作る。
13	公開前の最終点検を行う	リンク、誤字脱字、表示崩れなど、プロの視点で細部を仕上げる。
14	発表準備	制作したHPの目的や背景、意図などのプレゼン準備をする
15	発表	各自発表

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	コンテンツコミュニケーションⅡ	(NGM22F)
講義名 (コード)	コンテンツコミュニケーションⅡ	(NGM22FX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数 2
授業担当者	デザインルームエム水寄	時間数 30
成績評価教員	デザインルームエム水寄	講義期間 秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	アナリティクスを使用した分析と、それを踏まえた投稿作成を繰り返し行うことで、継続の重要性と分析を踏まえた実践が身につくことを目標とします
全体の内容と概要	SNSのアナリティクス機能の基本と読み取り方を学び、またデータから分析を行って改善案の作成、それを踏まえた取材と投稿を繰り返し実践します
授業時間外の学修	取材・投稿作成が授業時間内で完了しなかった場合や推奨投稿時間の指定がある場合、授業時間外での作業を行っていただく場合があります
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	アナリティクスデータ分析の基本がわかる	後期の流れを確認したうえで、基礎となるSNSのアナリティクス機能を学ぶ。また、実際にデータから何が読み取れるかを考える。
2	データから仮説を立てる方法がわかる	アナリティクスを閲覧できるアカウントを題材にして、伸びた投稿と伸びなかった投稿を比較する。また、要因の仮説を立て、投稿計画を立てる。
3	分析を元に投稿計画を立てる方法がわかる	立てた仮説から投稿の絵コンテを作成し、投稿イメージから逆算してどういったイメージが必要かを踏まえた取材計画を立てる。
4	分析を踏まえた投稿の取材方法がわかる	分析・仮説を確認し、投稿イメージの絵コンテを作成。そこから逆算して必要なカットを検討し、それを踏まえた取材を行う。
5	分析結果を踏まえた投稿作成の方法がわかる	取材内容から、仮説に沿った投稿を作成する。また、反応が多かった投稿の良いポイント、反応が少なかった投稿の改善点を組み込む。
6	比較分析を行ったうえでプロフィールの改善方法がわかる	フォロワーを増やすために必要な分析・検証の方法と、フォローしたくなるプロフィール画面の構成・関連するデータの分析方法を学ぶ。
7	効果的な短尺縦長動画の投稿計画の立て方がわかる	前期に作成した短尺縦長動画のアナリティクスから、分析・仮説立てを行う。また、それを踏まえて新たな動画投稿イメージと取材計画を立てる。
8	仮説を立てたうえで、動画制作を前提とした取材方法がわかる	動画コンテンツ作成の際に注意するポイントと投稿イメージを確認した上で、スケジュールを立てて実際に取材を行う。
9	効果的な動画の構成とレイアウトとその作成方法がわかる	撮影した動画素材を使用して投稿を作成する。またその際、前期で作成した動画の改善点を確認し、それを組み込んだコンテンツ作成を行う。
10	ユーザーとのコミュニケーション戦略がわかる	ユーザーとのコミュニケーションの重要性と、コミュニケーションを誘発するための機能・工夫などを検討。それを組み込んだ投稿計画を立てる。
11	繰り返し分析・仮説検証をする重要性がわかる	短期で見たときの分析と、長期で見たときの分析の比較を行う。またそこから、目的に応じてどのような分析を行うのが最適かを検討する。
12	分析・仮説立てを行ったうえで効果的な取材をする方法がわかる	これまで学んだ内容の総まとめとして、過去の投稿の分析・仮説・検証・テクニックを踏まえた投稿・取材計画を立て、取材を行う。
13	1年の知識総まとめとなる投稿の作成方法がわかる	これまで学んだ内容の総まとめとして、1年間学んできた内容を踏まえて目的を見据えたコンテンツの作成を行う。
14	まとめ	1年のまとめとして、改善の余地があるビジネスアカウントを見つけ、それを題材とした客観的な分析・仮説・改善提案資料を作成する。
15	まとめ	改善提案資料のプレゼンテーションを行い、相互にフィードバックを行う。これをもって評価とする。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	グラフィックデザイン応用Ⅱ	(NGM22H)
講義名 (コード)	グラフィックデザイン応用Ⅱ	(NGM22HX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数 1
授業担当者	小笠原 あやの	時間数 30
成績評価教員	小笠原 あやの	講義期間 秋学期
実務者教員	はい	履修区分 必修
実務者教員特記欄	空気猫デザイン研究所 代表	授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	Illustrator、Photoshopを応用し、マーケティングに必要なクリエイティブな表現の幅を広げる。
全体の内容と概要	商品のパッケージやチラシなど、実際に入稿する前提でのデータの作り方を身につける。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	キャラクターの役割やマーケティングについても考えることができる。	身近な商品のオリジナルキャラクターを考えよう① 手書きラフから
2	〃	身近な商品のオリジナルキャラクターを考えよう②
3	〃	身近な商品のオリジナルキャラクターを考えよう③ 発表
4	日本古来の風物詩に触れて、自由な塗り絵を楽しむことができる。	狐のお面に色をつけよう
5	身近にある「フォント」を観察し、変化させることができる。	オリジナルフォントづくり
6	チーム内で意見を出し合いながら協力することができる	《グループワーク》NBL祭のポスター作り①
7	〃	《グループワーク》NBL祭のポスター作り②
8	身近にあるデザインを意識して探すことができる	街に出て写真を撮ろう（看板・ポスターを探そう）
9	〃	街に出て写真を撮ろう 発表
10	素材を楽しく組み合わせ、気持ちを伝えるデザインを考えることができる。	クリスマスカードづくり
11	デザインの役割や意味を理解することができる	《グループワーク》問題解決のための広告作り
12	〃	《グループワーク》問題解決のための広告作り
13	〃	《グループワーク》問題解決のための広告作り、発表
14	テスト	効果的なキャッチコピーを考える
15	フィードバック	フィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	UX・UIデザインⅡ		(NGM22J)
講義名 (コード)	UX・UIデザインⅡ		(NGM22JX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	デザインルームエム 清水	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム 清水	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	(有)デザインルームエム 所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	UX、UIの目的と評価を理解する
全体の内容と概要	目には見えないものを視覚化体験させる技術、リアルへの落とし込みプロセスを理解する
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	UXデザインの目的を知る	UX戦略とそれに対する評価の重要性を理解する（前期おさらい）
2	リアル現場でのプロセスを知る	製造業での企画・デザイン・設計・製造・販促・流通・のプロセスを理解
3	視覚化を覚える	事前UXを提供するための視覚化 AfterEffectsの基本操作
4	AfterEffects実習	イラレ素材や文字を動かしてアニメーション
5	AfterEffects実習	パーティクルアニメーション
6	AfterEffects実習	イラレで描いた軌道で、パーティクルを動かす
7	3D-CGの概要を知る	3DCAD,3D-CGの事例 環境設定、テクスチャ設定、屈折、表面粗度と反射を理解
8	AfterEffects実習	3D-CG（先生用意）に、AFで目に見えない空気、液体の流れを加える
9	視覚心理を覚える	カッコいい、かわいい、高級感・・・とは何か デザイナーが使う造形ルールの秘密
10	具体的なプロダクトにUXデザインを考えられる人になる	「リモコン」（仮）を例に、UX,UIを考慮したデザインを考える・・・スケッチ
11	プロダクトに形としてUX,UIを落とし込める人になる	アイデアをまとめ最終案を仕上げる（イラレ）
12	プロダクトに課せたUX/UIの評価方法を考えられる人になる	紙・粘土でモックをつくってみる、評価して修正 先生3DP造形へ
13	プレゼンテーション計画	プロダクトをセールスするプレゼンを計画する
14	プレゼンテーション制作	AI、Pr,Af等を駆使し、プレゼンテーション（動画、パワポ）を制作
15	プレゼン発表会・まとめ	発表会と意見交換 UX,UIまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	個人の作例、youtube動画
備考	授業の時間の進行状況によりますが、ドローン撮影の時間を行う予定

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	グーグルアナリティクス概論2	(NGM22L)	
講義名 (コード)	グーグルアナリティクス概論2	(NGM22LX)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	デザインルームエム吉田	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム吉田	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	(有)デザインルームエム所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	アクセスログをベースとしたWEBマーケティング思考を身につけること
全体の内容と概要	WEBおよびSNSのアクセス解析ツールを使って実習形式で演習をおこなう
授業時間外の学修	とくになし
履修上の注意事項等	PCスキルが必要。この事業は常にPCで実践する

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	ログ解析の本質を理解する	アクセス解析の仕組み①: ログ取得の歴史と進化 ・
2	クッキーの役割と危険性を理解する	アクセス解析の仕組み②: Cookieの理解と最新動向
3	Aiを使ってログを効率よく分析する	アクセス解析の仕組み③: Ai連携でログを解析させる方法
4	ユーザー動向の捉え方を理解する	GA4 データ探索機能①: ユーザー経路の追跡
5	ユーザー動向の捉え方を理解する	GA4 データ探索機能②: トラフィック別の比較
6	ペルソナの使い方を理解する	Juicerを使ったユーザー属性の深掘り
7	UI・UXの課題を見つける	MSクラリティ特定ページの深掘り分析
8	ログ解析から課題を見つける	各種ログをくみあわせて現状を把握解析する (グループワーク)
9	ログ解析から課題を見つける	解析結果のすり合わせと課題の共有 (グループワーク)
10	SEOの意味を理解する	AI時代のSEOやMEOなどについて
11	課題解決の改善方法を考える	実践的データ分析演習①: 自社・課題サイトの現状把握と目標値の設定
12	課題解決の改善方法を考える	実践的データ分析演習②: 外部サイトとの連携やSNSキャンペーンの効果推測
13	課題解決の提案を実践する	各自でまとめた改善策と改善案レポートの作成
14	課題解決の提案を実践する	各自でまとめた改善策と改善案の発表プレゼン
15		プレゼンについての講評を踏まえたレポートの改善案

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	各種サービスのヘルプ、サポートページ
参考文献・資料等	NBLのWEBサイト、ECサイト、みるみる上田アカウント、などのアクセスログデータ
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	Web広告		(NGM22N)
講義名 (コード)	Web広告		(NGM22NX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	竹下 芽衣子	時間数	30
成績評価教員	竹下 芽衣子	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	Web広告の基礎から実践までを理解し、戦略的に広告を運用できる力を身につける。到達目標は、主要なWeb広告プラットフォーム（例えばGoogle広告やSNS広告）の使い方を習得し、ターゲット設定、予算管理、効果測定ができること、広告戦略を立案・実行できること
全体の内容と概要	オンライン広告の種類や特性を理解し、具体的な広告キャンペーンの設計・運用手順を学びます。デジタル広告の基礎理論、主要プラットフォームの使い方、ターゲット設定、クリエイティブ制作（CANVA使用）、データ分析といったステップに分け、実際にグローバル市場に向けた広告戦略を立案・運用するまでの流れを習得します
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	WEB広告基礎知識の習得	WEB広告の基礎概念と種類
2	ターゲティングの基礎習得	ターゲティングの基礎
3	グーグル広告基礎習得	Google広告の基本
4	SNS広告基礎習得	SNS広告
5	基本的な広告作成ができる①	広告作成の実習
6	基本的な広告作成ができる②	発表とディスカッション
7	予算や分析の基礎習得	広告予算の管理、データ分析と改善
8	実務的な広告キャンペーンの設計 習得	広告キャンペーンの実践設計
9	LPの基礎理解の習得	ランディングページ最適化
10	リスティング広告の基礎的な仕組み 習得	リスティング広告の仕組み
11	コンバージョンの基礎習得	コンバージョンとコンバージョン率
12	基礎的な動画広告が作成できる	動画広告
13	具体的な立案から設計、製作までの 流れの基礎習得	クリエイティブ制作実習
14	期末テスト①	発表とディスカッション
15	期末テスト②	発表とディスカッション

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	e-コマースⅡ	(NGM22P)	
講義名 (コード)	e-コマースⅡ	(NGM22PX)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	デザインルームエム吉田	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム吉田	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	(有)デザインルームエム所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	ECサイトを使ってモノやサービスを提供するためのマーケティング施策の理解を深める
全体的内容と概要	前期は座学、後期は実際にECサイトを開設運用する
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	PC必須

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	レポートの提出		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	企画を実行するための計画をたてる	ビジネスモデルキャンパスをつくり (9/29) 企画内容の確認とスケジュールを定め、担当者、責任者を定める
2	商品企画の確認と価格設定	対象者 (ペルソナ) の再確認と売れる商品を探す (10/13)
3	商品企画の流れを考える	商品企画をおこなう (グループワーク)
4	ECサイトを作るプロセスを実習する	販売商品の決定とBASEのアクセス管理および管理画面の学習
5	↓	商品企画チームとWEB運用チームに分かれてそれぞれのTODOを洗い出す (11/10)
6	↓	WEBチーム：導線に沿ったページ制作 / 商品チーム (商品の調達方法を決定)
7	↓	価格設定など最終サービスチェック
8	ECサイトの運用を実習する	WEBサイト公開 (12月1日) プレスリリースの作成方法と作成、SNS投稿
9	↓	初回のアクセスログ確認をおこなって改善点を見つける
10	↓	改善作業を実施 (12/15)
11	WEB広告を理解する	SNS広告について学び・広告出稿を実施 (1/19)
12	WEB広告の効果測定を理解する	WEB広告の効果測定の評価基準について
13	ECサイトの運用を実習する	2回目のアクセスログ確認、各自で課題展の洗い出しをおこなう (2/2)
14	↓	ECサイトの課題レポートを作成して提出 (2/9)
15	↓	レポートの総評とECサイトクローリング

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	とくになし
参考文献・資料等	BASEのサービスヘルプマニュアルなど
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	クリエイティブデザインⅡ	(NGM22R)	
講義名 (コード)	クリエイティブデザインⅡ	(NGM22RX)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	横内 和加	時間数	30
成績評価教員	横内 和加	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	画像生成AIを活用した地域の魅力発信（ご当地キャラクター開発）のスキルを習得する。AIへの適切な指示と翻訳する言語化能力と、AIが生成したビジュアルを自身の感性でブラッシュアップする編集力を体得する。
全体の内容と概要	実在する地域をモデルとした、AIを活用したキャラクター開発とブランド展開の演習。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	AI×デザインの可能性を知る	アカウント取得。実際に画像生成を体感する。
2	リサーチを行い、テーマを決定する	ターゲットとする国や地域の歴史、文化、特産を深掘りし、キーワードを抽出。
3	プロンプト設計(1)	地域の魅力をAIに伝えるための「言葉（プロンプト）」の組み立て方。
4	プロトタイプ作成	画像生成AI（Canva内蔵AI等）を使い、キャラクターの素案を大量に生成。
5	ビジュアルの選定	生成された画像から、コンセプトに最も近いものを選び、ブラッシュアップ。
6	キャラクターデザインの完成	Canva等のツールで、AIが生成した画像を清書・デジタル化し、完成させる。
7	中間チェックと評価	キャラクターの背景（設定）と、AIとの共創プロセスを説明。
8	表情とポーズの展開	AIに指示（プロンプト）を出し、喜怒哀楽の表情や特技ポーズを生成・編集。
9	LINEスタンプへの応用	Canva 等を使い、文字を合成。スタンプとしての視認性を調整
10	LINEスタンプのパッケージ化	背景透過処理やサイズ調整。申請可能な状態まで仕上げる。
11	キャラクターの活用シーンを想定した制作	キャラクターを社会でどう活かすか。ポスター、SNS、Web等から展開媒体を選定する。
12	【制作】 展開媒体のデザイン(1)	自身で選んだ媒体（広報物、デジタルコンテンツ等）に合わせ、キャラを最適化・配置。
13	【制作】 展開媒体のデザイン(2)	ターゲットに届くためのレイアウト調整と情報の整理。プロモーションの視点で仕上げる。
14	最終調整を行う	キャラクターと制作物の最終調整を行う
15	成果を発表し、共有する	構築したキャラクターと展開案の披露。フィードバック。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	IT検定対策Ⅳ		(NGM22T)
講義名 (コード)	IT検定対策Ⅳ		(NGM22TX)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	デザインルームエム小松	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム小松	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	IT検定対策の授業内容を踏まえ、ITパスポート試験合格のための 問題解答力をつける。
全体の内容と概要	ITパスポート試験の過去問について、プレゼン形式で問題演習を行う。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	過去問のプレゼン形式での説明を各自に行わせ、その評価点を評価基準に用いる。 また、レポートの作成を行い、その内容及びITパスポート試験の結果を成績評価に加味する。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1		
2		
3		
4	テクノロジー系について、ITパスポート試験合格の実力をつける。	テクノロジー系の過去問について、プレゼン形式で生徒各自が解答を発表する。
5		
6		
7		
8	マネジメント系について、ITパスポート試験合格の実力をつける。	マネジメント系の過去問について、プレゼン形式で生徒各自が解答を発表する。
9		
10		
11		
12	ストラテジ系について、ITパスポート試験合格の実力をつける。	ストラテジ系の過去問について、プレゼン形式で生徒各自が解答を発表する。
13		
14		
15	プレゼンテーション力の評価を行う。	各自が作成したレポートの内容について、発表を行う。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	ITパスポート合格読本、ITパスポートパーフェクトラーニング過去問題集
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	卒業研究		(NKT24G)
講義名 (コード)	卒業研究J		(NKT24GI)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	堀内 美穂	時間数	30
成績評価教員	堀内 美穂	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	2年間の学びをまとめた卒業発表を完成させる。課題抽出力、創造力、問題解決力、プレゼン力を生かし、ビジネスの場に活用できるスキルを磨く。
全体の内容と概要	今まで学習したことを振り返り、さらにそれについて知識を深めたり、PPTを使用しプレゼンテーション練習も行う。
授業時間外の学修	準備のため授業外でも進めていくようにする。
履修上の注意事項等	特になし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	卒業発表についての流れを知る。	卒業発表準備についての流れを説明。興味のあるテーマをあげてみる。
2	自分が興味のあるテーマを探し、発表の内容について具体化できる。	今まで学んだ内容に沿った興味のあるテーマを探す。
3	自分が興味のあるテーマを探し、発表の内容について具体化できる。	内容についてのOUTLINE作成。
4	発表の内容について具体化できる。	内容についてのOUTLINE作成。
5	内容についての情報収集ができる。	内容についての研究、課題抽出、リサーチ等を行う。
6	内容についての情報収集ができる。	内容についての研究、課題抽出、リサーチ等を行う。
7	卒業発表のため今まで学習した知識を更に深く考察することができる①	研究、リサーチした内容をまとめ、PPT作成を始める。
8	卒業発表のため今まで学習した知識を更に深く考察することができる②	研究、リサーチした内容をまとめ、PPT作成を始める。
9	自分の言葉で表現することができる①	内容にあった写真やグラフ等を入れる。
10	自分の言葉で表現することができる②	PPTを完成させ、発表文を作成する。
11	自分の言葉で表現することができる③	PPTを完成させ、発表文を作成する。
12	自分の言葉で表現することができる④	PPTを完成させ、発表文を作成する。
13	自分の言葉で表現することができる⑤	リハーサルを行い内容について修正を入れる。
14	まとめと解説	修正箇所を見直し、時間を計ってリハーサルを行う。
15	まとめと解説	卒業発表の最終リハーサル

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	ビジネス英語Ⅳ	(NKT24V)
講義名 (コード)	ビジネス英語ⅣA	(NKT24VA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年 2学年
対象コース	Webマーケティングコース /	単位数 2
授業担当者	高野 恵	時間数 30
成績評価教員	高野 恵	講義期間 秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	実務場面において、注文対応、予約対応、提案や案内などを英語で行えるようになることを目標とする。
全体の内容と概要	レストランやホテル、観光案内などを想定した業務シーンを通して、注文対応、予約対応、問題対応、提案表現など、実務に直結する英語表現を学習する。
授業時間外の学修	授業内容を振り返り、業務場면을想定した発話練習やリスニングを行うこと。
履修上の注意事項等	春学期の学習内容を基礎として進行するため、復習を行ったうえで授業に取り組むこと。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	飲食店で注文の確認や応対ができるようになる	Unit4 Are You Ready to Order?
2	数量や提供状況について正確に確認できるようになる	Unit5 Do We Have Enough Wine?
3	顧客の要望に応じて商品や料理を提案できるようになる	Unit6 I'll Try the Sashimi
4	飲食店での一連の接客対応ができるようになる	Review Units 4-6
5	宿泊施設での予約対応ができるようになる	Unit7 I'd Like to Book a Room
6	商品やお土産について説明・案内ができるようになる	Unit8 I'm Looking for a Souvenir
7	顧客の困りごとを聞き取り、状況を把握できるようになる	Unit9 What Seems to Be the Problem?
8	サービス業務に応じた適切な対応ができるようになる	Review Units 7-9
9	依頼内容を理解し、必要な対応を説明できるようになる	Unit10 Can You Tell Me What to Do?
10	提案や助言を業務英語として丁寧に伝えられるようになる	Unit11 I Suggest Going to Shibuya
11	観光地・施設について分かりやすく説明できるようになる	Unit12 Where Do You Recommend I Go?
12	案内・提案を含む対応を円滑に行えるようになる	Review Units 10-12
13	実務場面を想定した総合的な応対ができるようになる	総復習
14	秋学期の内容を実務英語として運用できるようになる	期末テスト
15	学習成果を振り返り実務に向けた課題を整理できるようになる	テストフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Speaking of Hospitality
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	ビジネス翻訳Ⅱ		(NKT25B)
講義名 (コード)	ビジネス翻訳ⅡA		(NKT25BA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	Webマーケティングコース /	単位数	2
授業担当者	松尾 早苗	時間数	30
成績評価教員	松尾 早苗	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	簡単な商談が英文メールでできるようになる (問い合わせ、クレーム処理、アポイント、案内、通知)
全体の内容と概要	春学期に英文メールの和訳、秋学期に日本語を英文メールにする演習を行う
授業時間外の学修	授業で学んだビジネス特有の表現、単語を復習
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

--	--	--

回	到達目標	授業内容
1	前期の内容がきちんと身についている	前期内容復習
2	アポイントメント依頼メールを英文で作成できる	特殊表現を学んだ後、実際に英文メールを作成
3	アポイントメント依頼メールを英文で作成できる	特殊表現を学んだ後、実際に英文メールを作成
4	出張手配依頼メールを英文で作成できる	特殊表現を学んだ後、実際に英文メールを作成
5	クレームメールに英文で対応できる	特殊表現を学んだ後、実際に英文メールを作成
6	社内連絡メールを英文で作成できる	特殊表現を学んだ後、実際に英文メールを作成
7	社外連絡メールを英文で作成できる	特殊表現を学んだ後、実際に英文メールを作成
8	社交辞令メールを英文で作成できる	特殊表現を学んだ後、実際に英文メールを作成
9	社交辞令メールを英文で作成できる	特殊表現を学んだ後、実際に英文メールを作成
10	営業メールを英文で作成できる	特殊表現を学んだ後、実際に英文メールを作成
11	ハウレンソウを英文で作成できる	特殊表現を学んだ後、実際に英文メールを作成
12	総復習	プリント
13	テストの準備	プリント
14	後期テスト	テスト
15	テスト解説	解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	英文ビジネスEメール実例・表現1200
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	ビジネスコンピューティングⅣ		(NKT25F)
講義名 (コード)	ビジネスコンピューティングⅣA		(NKT25FA)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース/WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	東京コンピューター (株)、東京精電 (株) 歴任	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	習得したOfficeの応用力をさらに高め、資格試験対策を通して実務レベルの操作精度と知識を身につける。生成AIを活用した資料作成方法や業務効率化の考え方を学ぶ。
全体の内容と概要	各自のレベルに合わせた検定対策と実務的な資料作成演習を行う。 生成AIを活用したテンプレート作成を通して実務スキルの向上を図る。
授業時間外の学修	資格試験対策として操作内容や模擬問題の復習・練習に取り組んでください。 生成AIを用いた課題について自宅でも編集・改善を行い実務的な操作力を高めてください。
履修上の注意事項等	検定試験はいつでも受験できます。受験日を意識して計画的に学習してください。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画			
回	到達目標	授業内容	
1	金額を正しく計算できる 見積書を作成することができる	見積書の作成 (金額・値引きの計算・消費税の計算)	後半 検定対策 模擬試験プログラムを活用して学習する 自分のレベルに合わせて選択 随時、検定試験を受験する 【MOS Excel Expert または 日商PC3級・2級】 ブック管理から高度な数式・グラフ・ テーブル作成、データ表示形式や レイアウト設定等を総合的に学習する 【MOS Word Expert または 日商PC3級・2級】 文書管理から文字・段落・セクションの 編集、表やリストの扱い、参考資料や グラフィック要素の作成、共同作業の 管理等を総合的に学習する 【MOS PowerPoint または 日商PC3級・2級】 プレゼンテーションとスライドの管理、 画像・図形の編集、表やグラフなど 多様な要素の挿入、アニメーション設定 等を総合的に学習する
2	シートコピーと書式・計算式の引き継ぎができる	納品書・請求書の作成 (シートのコピー・書式の編集)	
3	小計・VLOOKUP関数を利用してデータを効率的に整理・分析できる	売上リスト作成(リスト集計・VLOOKUP関数・金額の計算)	
4	複数のシートを整理して集計・管理ができる	3-D参照を使った複数シートの計算	
5	生成AIを活用して管理表の基礎構造を作成できる	生成AIを利用してダッシュボード作成① 個人支出管理表を作成する	
6	生成されたデータを確認し修正できる	生成AIを利用してダッシュボード作成② 生成されたデータを確認・修正	
7	生成AIで効率的に作成データを迅速に把握できる	生成AIを利用してダッシュボード作成③ 個人支出管理表を完成させる	
8	生成AIで英文の下書きを作成できる	生成AIを利用した文書作成① 海外向けの報告書を作成	
9	生成AIが作成した下書きを検証・校正できる	生成AIを利用した文書作成② 翻訳機能を使って改善点を修正	
10	生成AIで効率的に文書を作成・推敲できる	生成AIを利用した文書作成③ 報告書を完成させる	
11	生成AIを活用して内容を整理できる	生成AIを用いて2年間の学習内容を整理、まとめの構成案を作成する	
12	生成AIで内容を充実させ資料を形にできる	Word・Excel・PowerPointいずれかでまとめ資料を作成・改善する	
13	資料を仕上げ、発表する完成版を作成できる	資料を発表用データとして完成させる	
14	まとめと解説	期末テスト	
15	まとめと解説	テストF B	

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	30時間でマスターOffice2021
参考文献・資料等	各問題集の練習問題、レベルに応じた資格試験の練習問題
備考	担当教員はIT業界での実務経験を活かし、Microsoft Office製品各種の操作を体系的に指導する

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	キャリアデザインⅣ	(NKT25H)	
講義名 (コード)	キャリアデザインⅣA	(NKT25HA)	
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース/観光ホスピタリティコース WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	石田 浩也	時間数	30
成績評価教員	石田 浩也	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。社会人として必要とされるマナーを習得する。⇒企業で活躍できる人間形成
全体の内容と概要	講義と演習により、就職内定へ向けて実践的なマナーやスキル、企業研究、職種研究、インターンシップの活用を通じてマッチング方法を習得する。
授業時間外の学修	インターンシップ、合同企業説明会&面接会参加 (WEB含む)
履修上の注意事項等	主体性をもって、授業に取り組む姿勢、就職に意欲的に取り組む姿勢。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	出席率70%以上の者を期末試験の受験対象者とし、授業への参加態度や学習意欲も評価の対象とする		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	授業内容の理解	【オリエンテーション】 後期の内容について説明、心構え 【演習】 進路希望、希望職種、ガイダンス予約
2	インターンシップの振り返りができる	【インターンシップ】 インターンシップについての復習 【演習】 インターンシップの反省キャリア面談、応募先企業シート作成
3	就職活動スケジュールが理解できる	【就職情報説明】 就職活動スケジュール、必要書類、スキル、準備物 【演習】 キャリア面談 応募先企業シート作成
4	就職活動の計画が作成できる (1)	【行動計画立案】 応募企業先への面接試験を想定したシュミレーション 【演習】 キャリア面談 就職活動行動計画表作成
5	就職活動の計画が作成できる (2)	【行動計画立案】 応募企業先への面接試験を想定したシュミレーション 【演習】 キャリア面談 就職活動行動計画表作成
6	就職活動の計画が作成できる (3)	【行動計画立案】 応募企業先への面接試験を想定したシュミレーション 【演習】 キャリア面談 就職活動行動計画表作成
7	就職内定先企業への提出書類について理解できる(1)	【内定書類】 就職内定後の提出書類、提出方法、準備物など 【演習】 内定書類記入 誓約書、内定受諾書、個人情報書類の署名捺印
8	就職内定先企業への提出書類について理解できる(2)	【内定書類】 就職内定後の提出書類、提出方法、準備物など 【演習】 内定書類記入 誓約書、内定受諾書、個人情報書類の署名捺印
9	入社前研修、オリエンテーションについて理解できる。(1)	【入社前研修】 研修の目的、研修内容、研修への関わり方 【演習】 仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文 キャリア面談
10	入社前研修、オリエンテーションについて理解できる。(2)	【入社前研修】 入社時書類、労働条件(給料、時間、休日、勤務地) 【演習】 仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文 キャリア面談
11	入社前研修、オリエンテーションについて理解できる。(3)	【入社前研修】 社会人のマナー、コンプライアンス 【演習】 仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文 キャリア面談
12	日本企業の仕事について理解できる。(1)	【日本の企業】 1日、1か月、1年間の仕事の流れ 【演習】 仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文 キャリア面談
13	日本企業の仕事について理解できる。(2)	【日本の企業】 職場でのコミュニケーション 【演習】 仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文 キャリア面談
14	まとめと対策	【テスト】 記述式 【テスト】 回収
15	まとめと対策	【テスト返却】 フィードバックと解説 【振り返り】 講義の振り返り、まとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『就職内定基本テキスト』(日本能率協会マネジメントセンター)
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	担当教員はキャリアコンサルタントとしての実務経験を活かし、就職内定へ向けての実践的なカリキュラム運営を行う